

MURIEL'S WEDDING



she's not just getting married, she's getting even.



'94 カンヌ映画祭正式出品作品

'95 ゴールデングローブ賞 主演女優賞ノミネート

'94 オーストラリア・アカデミー賞 最優秀作品賞 / 主演女優賞 / 助演女優賞 / 最優秀音響賞受賞

*I never HAND OVER
this wedding bouquet
to my friends!*

めざせグレース、
ジャッキー、ダイアナを！

*Miriam Margulies
1995*



世界中が注目したキツチュな
結婚サクセス・ストーリー

ミュリエルの結婚



Terrible!



Bridal ♡



Bridesmaids?

A comedy about a small town who didn't fit in but is about to learn how to stand out.

あなたも **ミュリエルの結婚式にどうぞ**

1 ウエディング・スーケは誰にも譲れない、絶対に。結婚はスタートなんかじゃない、ゴールなのよ、もちろんでしょ。

2 恋よりも愛よりも何よりも結婚、結婚がしてみたい。

3 ウエディング・ドレスで着せかえさって。死にそうに楽し。

4 結婚式だからって、神妙にすることはないぞ。

5 ウエディング・ドレスは七難をかくしてくれるわ。

6 結婚行進曲がABBAの曲ではなほなほ。

7 花嫁って、白い“ダンシング・クイーン”みたいなのよ。

8

**ミュリエルの
過激な
結婚8ヶ条**

■海外の配給作品をタランティーノが選んでいるあのミラマックスによって全米に配給されたこの作品は、タランティーノの「パルプ・フィクション」も押さえ、3週連続トップテン入りした。インディーズ作品としては一位も確保、記録を作った。全米での驚異的な大ヒットとなった。これは、アメリカの女の子みんなが、本当はミュリエルのように自分に正直に生きてみたくかったことこのあられなのかも知れない。

■トニ・コレットはニコール・キッドマン、サンドラ・ブロック、アネット・ベニング、ヴァネッサ・レッドグレイヴと同格で'95年度ゴールデングローブ・コメディ・ミュージカル部門・主演女優にノミネート。彼女は、役柄のため、22歳というデリケートな年齢にもかかわらず、20キロも太った。まさしく“女口パート・デ・ニーロ”の異名をとるほどの体当たり根性にハリウッドも拍手喝采。本作品が大ヒットしたことで、一挙にハリウッドでも知られるところとなった彼女に次々と主演依頼が殺到。“COSI” “Emma” “The

Pallbearer”と、新作がたて続けにフィーチャーされている。'96年のカンヌ映画祭でもカンヌの目抜き通りを歩くトニの姿が多くの映画人の目を引いた。

■オーストラリア映画は最近、次々と若手監督を生み出している。「プリシラ」のステファン・エリオット、そして本作品のP・J・ホーガン。オーストラリア独特の微妙な色合いの映像や、ねじれた笑い、そして、またABBAやカーペンターズなどの、リバイバル・サウンド使いなど、実に新鮮な映像カルチャーを生み出して、目が離せない。なお、ホーガン監督はジュリア・ロバーツを出演させた「MY BEST FRIEND'S WEDDING」を新作としてスタートさせている。婚約者の親友と恋に落ちるヒロインを描いたロマンチック・コメディだそうで、引き続き“結婚”にこだわっているようだ。

■結婚はゴールではなくスタートであり、夢のようなオープニングから、ともしればミュリエルの母がたどるささくれた、ほんやりとした日々

につながる日常へのパスポートでもある。そして灰色のエンディングというリスクがありながらもどんな時にも、女性が望む選択肢の最高峰に輝いている存在である。“この皮肉な道のりを、なぜに女は、望むのだろうか”永遠の命題である結婚、そしてそこから作り出される家庭と家族、そういった一見平凡だが実に奥の深いテーマを、女の子の気持ちに寄り添って描いたP・J・ホーガン、この作品は、実に全ての人々にとって興味深いテーマであるはずだ。

■90年代にABBAブーム再びの予感！
サウンドトラックCD 7/25発売（ポリドール）決定。〈ダンシング・クイーン〉〈ママ・ミア〉〈悲しきフェルナンド〉など懐かしのABBAヒット曲に加え、カーペンターズ、ブロンディ、ルベッツなどがいっぱい。

配給：巴里映画
提供：巴里映画 テレビ東京
ギャガ・コミュニケーションズ



ミュリエルの結婚に贈られた祝辞のいくつかをご披露いたします

- *この映画のスカッとさわやかな興奮はなかなか立ち去らない。 — ニューヨーク・タイムズ
- *観客はミュリエルがラストに向かってやせていく話だと思っただろうが、この映画の終わりは彼女の自分発見の旅になる。彼女がどれだけ成長したか見てほしい。*結婚の喜びと失望をとらえたオーストラリアのコメディが、これほど人々の心をとらえたと誰が考えただろう。 — ニューヨーク・ポスト
- *ABBAの軽快なリズムに乗った陽気なコメディは何とも新鮮。 — テイラー・ニュース
- *陽気で大胆なミュリエルの戦い（!?）に多くの女性が共感する予感あり。 — コスモポリタン USA



CAST

ミュリエル トニ・コレット
ビル ビル・ハンター
ロンダ レイチェル・グリフィス
ベティ ジニー・ドリナン
ディードリ ジェニー・ネビンソン
ブライス マット・デイ
デビッド ダニエル・ラパイン
タニア ソフィー・リー

Toni Collette
Bill Hunter
Rachel Griffiths
Jeanie Drynan
Gennie Nevinson
Matt Day
Daniel Lapaine
Sophie Lee

STAFF

監督/脚本 P. J. ホーガン
製作 リンダ・ハウス
ジョセリン・ムアハウス
マーティン・マグラス
撮影 ジル・ビルコック
編集 ビーター・ベスト
音楽 テリー・リアン

P.J.Hogan
Lynda House
Jocelyn Moorhouse
Martin McGrath
Jill Bilcock
Peter Best
Terry Ryan

1994年/オーストラリア映画/カラー/105分

11月9日(土)より(金)マデ)待望のロードショー!

♥特別鑑賞券¥1,400(当日一般¥1,800/大・高¥1,500)発売中!

♥劇場窓口、阪急、阪神、東映、エスト1各PG、チケットセゾン、チケットぴあ、関西プレイガイド協会にてお求め下さい。

梅田ロフトB1 ☎03(359)1080
テアトル梅田2

上映時間				
10:25	12:30	2:35	4:40	6:45